授業科目	日本語学概論					実務家教員担当科目	-
単位	2.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	清水　順子						
授業概要	この授業では、日本語学を日本語教育や教養の面から学ぶ。日常の身の回りの言語表現を取り上げ、そのしくみを歴史的・社会的・地域的背景とともに考察する。日本語学の基礎的知識をふまえ、豊かで鋭い言語感覚に触れ、自己のことばを科学的に観察することが出来るようになることを目指す。						
授業形態	講義				授業方法	GoogleClassroom を活用して、発表資料等の共有を行う。	

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 日本語学の基礎的知識を体得することができる。 2. 豊かで鋭い言語感覚を習得することができる。 3. 自己のことばを科学的に観察することができる。
理想的レベル	日本語学について学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	50%	授業への参加度、提出物

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	ナンバリング
○	-	○	-	-	-

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：該当部分の予習を行う。 復習：授業で学んだことを振り返り、興味や関心、疑問点、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。	4

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 授業の概要を説明し、履修方法や授業の目的、達成目安、評価の内容と方法を理解する。
第 2 回	音声学と音韻論 発音記号 ポストタスクを通して理解を深める
第 3 回	語構成 複合語 動詞のタイプ

	意味役割
第 4 回	語彙 語の変化 漢語 ポストタスクを通して理解を深める
第 5 回	テンス テンスとアスペクト
第 6 回	表記 ひらがな・カタカナ表記 話し方と表記の関係 ポストタスクを通して理解を深める
第 7 回	授受表現 上代のやりもらい 現在のやりもらい ポストタスクを通して理解を深める
第 8 回	動詞と助動詞 活用体系 形容詞
第 9 回	方言１ 地域差 ヴァリエーション 日本語の多様性
第 10 回	方言２ 命令表現 敬語運用の地域差
第 11 回	オノマトペと副詞
第 12 回	フィラー フィラーと発話効果
第 13 回	敬語 敬語の５分類 普通体と丁寧体
第 14 回	接続詞 役割語
第 15 回	総括 授業のまとめと重要事項解説
テキスト	岡崎知子他(2017)『ココが面白い！日本語学』ココ出版
参考図書・教材／データ	授業の際に紹介する。

ベース・雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	提出物は、コメントを付けて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	1. 積極的な参加を重視します。 2. 正当な理由があり欠席・遅刻・早退する／した場合は、必ず届け出ておくこと。 3. 皆さんが日常的に使っている日本語を、色々な角度から分析・解説していきます。授業以外の時間でも、「これはどうなんだろう？」という疑問を持ち続け、分からないところは、自分で調べてみましょう。